



ESD 通信



海洋プラスチックゴミについてもっと知ろう！

4年生は、東京海洋大学院の内田圭一先生から、海洋に漂うプラスチックゴミについて教えて頂きました。学習の様子について7月15日付け三陸新報にも掲載されました。学習の様子や子ども達の感想をちょっと紹介いたします。

4年生 守ろう！みんなの命 ～海の命，わたしたちの命～



世界中で話題となっている海洋プラスチックゴミ問題について学習中の4年生。その現状を、専門家から話していただきました。

最近では、太平洋ゴミベルトと表されている程、海洋プラスチックゴミが堆積されていることや、私たちが生活の中で出しているゴミ（ペットボトル、レジ袋、マスク、様々な商品の袋類）や漁網が海洋ゴミとして堆積をしているということでした。漁網について、世界の海の状況を調査したところ、日本周辺での廃棄漁網は少なく、環境に配慮しながら操業をしていることをデータで示していただきながら学習しました。とはいえ、マイクロプラスチックゴミが南極でも存在することが、観測船での観察から分かったそうです。地球がマイクロプラスチックで汚染されないよう、今を生きる皆の手で未来を守ることを意識できた時間でした。



プラスチックゴミって何？



アジアの浜辺で拾ったストロー



一本釣りのロープに触って観察

児童感想から

- ♡ 漁業に使う物もマイクロプラスチックになることが改めてよく分かりました。そこで、これからの漁業を行っていくのによい方法を自分でも考えてみたいと思いました。
- ♡ 世界のマイクロプラスチックゴミは、まだ1%分しか見つかっていないことを知りました。1%しか見つかっていないということは、世界中にいっぱいマイクロプラスチックがあるんだと思いました。
- ♡ 漁業のことと海洋ゴミ問題のことを話していただきました。休みの日は、ゴミ拾いをしたいと改めて思いました。
- ♡ 漁業の仕事は、1年もかかるものもあると聞いて、とてもびっくりしました。マイクロプラスチックの大きさが、5mm以下のとても小さいものもあることに驚きました。